

儲かる仕組みにチューニングしよう

形骸化させない品質マネジメントシステム構築の勘どころ 実 践 講 座

せっかく認証取得したのに審査登録だけではもったいない。売上げアップやコストダウン等、企業が求めているゴールや目標に貢献できるようシステムを改善する為にどうするべきか

◆開催要領◆

●日 時 ● 2015年 7月 10日 (金) 13:30~17:00

●会 場 ● 「企業研究会セミナールーム」(東京・麹町) 東京メトロ麹町駅より徒歩5分

ご発表者 H2Lab. 代表 (元富士フィルム(株)環境・品質マネジメント部技術担当部長) 原 博 氏

1972年富士写真フィルム入社。「写ルンです」開発、生産、品質保証に従事後、本社CSR推進部環境・品質マネジメント部で統合マネジメントシステムの構築・運用を担当。現在はH2Lab. 代表として各社の品質及び統合マネジメントシステムの構築・運用を支援。

ご発表者 コニカミノルタ株式会社 社会環境部品質推進グループ品質企画グループ課長 一柳 高人 氏

◆ご参加頂きたい方◆

品質保証部門等に所属され、品質マネジメントシステム構築についてご関心のある方

●受講料 ●1名 (税込み、資料代 含む)

正会員	32,400円 (本体価格 30,000円)
一般	35,640円 (本体価格 33,000円)

■参加要領

申込書はFAX、または下記担当者宛E-mailにてお送り下さい。
当会ホームページからもお申いただけます。後日、
(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書を
お送りします。

*よくあるご質問 (FAQ) は当会ホームページにてご確認いただけます。([公開セミナー] → [よくあるご質問])
*お申込後のキャンセルはお受けしかねますので、ご都合が悪くなつた場合、代理の方のご出席をお願いいたします。
*最少催行人数に満たない場合には、中止とさせて頂く事もありますので、ご了承下さい。

■お申込・お問合せ先

一般社団法人企業研究会 セミナー事務局
(担当) 鈴木 E-mail:a-suzuki@bri.or.jp
TEL:03-5215-3550 FAX:03-5215-0951

一般社団法人 企業研究会 セミナー事務局宛

申込書 FAX:03-5215-0951

151236-1111	2015.07.10 形骸化させない品質マネジメントシステム構築		
ふりがな 会社名			
住所	〒		
TEL		FAX	
ふりがな ご氏名		所 属 役 職	
E-Mail			
ふりがな ご氏名		所 属 役 職	
E-Mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させて頂きます。
※申込書をご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意願います。

【開催にあたって】

第1部では、規格改訂を受けて、企業側は何を準備し、どの様に対応すべきか？また、事業一体や顧客に密着したマネジメントシステムを指向し、儲かるマネジメントへの変革するにはどうしたらいいのか？の視点で総論を解説して頂きます。第2部では、コニカミノルタ株式会社様をお招きし、「プロセスベースのリスク管理」について現在及び将来のコニカミノルタ社が考える品質マネジメントシステム運用についてご紹介頂きます。

【第1部】儲かる！品質マネジメントシステムの徹底研究と構築～ISO9001:2015 改正対応～

13:30～15:00

我々は、何を準備し、どの様に対応すべきか？事業一体や顧客に密着したマネジメントシステムを指向し、儲かるマネジメントへの変革するにはどうしたらいいのか？

1. ISO9001 の 2015 年改訂動向
2. 経営視点からの品質マネジメントシステム
3. マネジメントシステムの統合

H2Lab. 代表（元富士フイルム株環境・品質マネジメント部技術担当部長） 原 博 氏

【第2部】コニカミノルタが考える ISO9001:2015 改正対応～プロセスベースのリスク管理～

15:00～16:30

1. 会社概要
2. QMS ポジショニングマップ

せっかく認証取得したのだから、審査登録だけではもったいない。売上げアップやコストダウン等、企業が求めているゴールや目標に貢献できるようシステムを改善して行こう。

3. ISO9001:2015 改正動向
4. コニカミノルタグループにおけるQMSの状況
 - ・「事業一体・顧客密着型QMS」への転換手段
→プロセスアプローチの導入
→業務のワークフロー化
5. リスクマネジメントの組み込み事例
 - ・リスクマネジメントは、予防措置
6. まとめ

コニカミノルタ株式会社 社会環境部品質推進グループ品質企画グループ課長 一柳 高人 氏

【質疑応答】16:30～17:00

* プログラムの最後に原氏・一柳氏へのご質問タイムを設けます。